



平成31年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月11日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4829 URL http://www.nihon-e.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 <アナリスト・機関投資家向け>

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第2四半期の連結業績（平成30年6月1日～平成30年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第2四半期	1,611	△20.3	77	△8.3	96	△13.3	27	△39.1
30年5月期第2四半期	2,021	△19.0	84	△49.6	111	△39.8	45	△35.2

(注) 包括利益 31年5月期第2四半期 29百万円 (△61.0%) 30年5月期第2四半期 74百万円 (24.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第2四半期	0.70	—
30年5月期第2四半期	1.13	1.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年5月期第2四半期	5,983	5,160	81.4	121.40
30年5月期	6,004	5,213	82.1	122.89

(参考) 自己資本 31年5月期第2四半期 4,872百万円 30年5月期 4,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
31年5月期	—	0.00	—	—	—
31年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年5月期の連結業績予想（平成30年6月1日～平成31年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,895	0.1	285	62.9	345	34.0	175	5.3	4.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年5月期2Q	40,613,000株	30年5月期	40,612,400株
② 期末自己株式数	31年5月期2Q	480,000株	30年5月期	480,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年5月期2Q	40,132,844株	30年5月期2Q	40,567,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

2. 決算説明会について

当社は、平成31年1月16日（水）に決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）を開催する予定です。また、当日使用する決算説明会資料は、同日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるITサービス業界を取り巻く環境は、スマートフォンの高機能化、通信インフラの高度化などを背景に、スマートフォンやクラウドを活用したサービスやシステムの需要が拡大しております。また、IoT（注1）、人工知能（AI）、自動運転などITによる新たな社会基盤構築へのニーズが高まっており、同環境は今後も更に大きく発展していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、コンシューマ向けスマートフォンアプリ、システム開発、デバッグ、業務効率化アプリ、モバイルキッティング、音声ソリューション、電子商取引（eコマース）などのサービスを推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は16億11百万円（前年同四半期比20.3%減）、営業利益は77百万円（同8.3%減）、経常利益は96百万円（同13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（同39.1%減）となりました。

（注1）「Internet of Things」モノをインターネットに接続して制御・認識などを行う仕組み

各セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、「コンテンツサービス」においては、キャリアプラットフォーム市場が縮小する中、効率的な運用で収益確保を図るとともに、健康・リユース・余暇の充実への社会全体の意識の高まりを背景に、主力アプリであるヘルスケア、フリマ、交通情報、電子書籍、ゲームの利用促進や新規コンテンツの開発に努めてまいりました。

また、「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、業務用スマートフォンアプリ、交通情報・教育・観光・調達などの各種クラウドサービス、音声ソリューションの他、ECサービス等自社開発のサービスを活用した受託開発が堅調に推移いたしました。飲食事業者向け鮮魚eコマース『いなせり』においては、東京魚市場卸協同組合と連携し、物流の最適化、飲食事業者開拓に取り組むとともに、豊洲市場への移転を契機として、平成30年11月に新たに一般消費者向け鮮魚eコマース『いなせり市場』を開始いたしました。その他、キッティングサービスにおいては、支援ツール『Certino（セルティノ）』の拡販に加え、お客様のニーズに合わせた全ての支援ツールを連携させたキッティングのRPA（注2）を開発してまいりました。

また、引き続き、ブロックチェーン（注3）を活用した電力取引の他、自動運転においては公道での自動走行の実施等、新サービスの実証事業に継続して取り組んでまいりました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は9億17百万円、セグメント利益は2億71百万円となりました。

（注2）「Robotic Process Automation」認知技術を活用した業務の効率化・自動化の取り組み

（注3）データを「ブロック」に格納し、鎖（チェーン）のように連結して保管する、改ざんが極めて困難なデータベース

<ソリューション事業>

システムの受託開発・運用サービスを主な業務とする当事業は、活発なIT投資による市場拡大の状況下、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、スクラッチ開発（注4）を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポートなどクリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発が引き続き好調に推移いたしました。

また、平成30年2月に事業譲渡した「広告代理サービス（店頭アフィリエイト）」に代わる新たなサービスとして今後拡大が見込まれる端末周辺事業の創出に努め、クリエイション事業で注力しているキッティングサービスを核に、中古端末（スマートフォン等）の買取サービスを平成30年9月から開始いたしました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は6億94百万円、セグメント利益は75百万円となりました。

（注4）システム開発で、特定のパッケージ製品のカスタマイズや機能追加などによらず、すべての要素を個別に最初から開発すること

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して21百万円減少し、59億83百万円となりました。流動資産は、主に売掛金、預け金の増加及び現金及び預金の減少により前連結会計年度末と比較して81百万円増加し、49億9百万円となりました。固定資産においては、主にソフトウェア、投資有価証券及び差入保証金の減少により前連結会計年度末と比較して1億3百万円減少し、10億73百万円となりました。

負債につきましては、主に預り金の増加及び未払法人税等の減少により前連結会計年度末と比較して31百万円増加し、8億22百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありました。剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末と比較して53百万円減少し、51億60百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益96百万円(前年同四半期比11.8%減)、減価償却費96百万円(同19.1%減)等による資金の増加が、売上債権の増加額9百万円(前年同四半期は売上債権の減少額10百万円)、たな卸資産の増加額19百万円(同87.9%増)、法人税等の支払額56百万円(同31.9%減)等の資金の減少を上回ったことにより、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1億11百万円(同39.3%増)の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

保険積立金の解約による収入8百万円及び会員権の売却による収入5百万円がありましたが、クリエイション事業に係るソフトウェア開発を中心に無形固定資産の取得による支出76百万円(同6.8%減)等により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは61百万円(前年同四半期は1億96百万円の資金の増加)の資金の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

株主の皆様への利益還元といたしまして配当に79百万円(同1.1%減)を支出したことに加え、長期借入金の返済による支出11百万円(同6.8%増)等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは1億5百万円(同0.4%減)の資金の減少となりました。

上記のとおり、当第2四半期連結累計期間は営業活動で増加した資金を効果的な設備投資及び株主の皆様への利益還元として配当に充当いたしました。また、非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加もあり、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末比38百万円減少し、40億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年5月期の連結業績予想につきましては、平成30年7月11日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,205,000	4,166,983
受取手形及び売掛金	434,101	487,702
商品	1,076	1,332
仕掛品	61,299	80,283
貯蔵品	446	570
未収入金	70,474	79,518
その他	89,617	126,584
貸倒引当金	△34,708	△33,670
流動資産合計	4,827,308	4,909,304
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	22,269	22,434
機械及び装置(純額)	343,724	332,230
土地	12,400	12,400
その他(純額)	27,191	24,007
有形固定資産合計	405,585	391,072
無形固定資産		
のれん	293	167
ソフトウェア	422,538	405,733
その他	9,244	9,186
無形固定資産合計	432,076	415,088
投資その他の資産		
投資有価証券	170,023	118,844
差入保証金	83,932	73,197
繰延税金資産	71,690	71,390
その他	14,084	4,209
投資その他の資産合計	339,730	267,641
固定資産合計	1,177,392	1,073,801
資産合計	6,004,700	5,983,106

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	94,588	100,303
1年内返済予定の長期借入金	23,496	23,496
未払法人税等	61,470	42,790
未払消費税等	35,150	27,100
役員賞与引当金	—	1,213
その他	222,128	285,311
流動負債合計	436,834	480,215
固定負債		
長期借入金	277,387	265,639
退職給付に係る負債	51,970	54,528
その他	24,592	22,313
固定負債合計	353,950	342,481
負債合計	790,784	822,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,107,915	1,108,017
資本剰余金	984,096	984,462
利益剰余金	2,912,185	2,868,976
自己株式	△117,120	△117,120
株主資本合計	4,887,077	4,844,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,672	27,872
その他の包括利益累計額合計	44,672	27,872
新株予約権	3,827	4,300
非支配株主持分	278,339	283,901
純資産合計	5,213,916	5,160,409
負債純資産合計	6,004,700	5,983,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
売上高	2,021,372	1,611,499
売上原価	1,214,138	863,972
売上総利益	807,233	747,526
販売費及び一般管理費	723,189	670,490
営業利益	84,044	77,036
営業外収益		
受取利息	119	81
受取配当金	586	690
補助金収入	27,092	13,055
受取賃貸料	666	666
業務受託手数料	—	300
為替差益	31	24
保険解約返戻金	—	4,975
その他	914	1,691
営業外収益合計	29,410	21,485
営業外費用		
支払利息	1,736	1,660
支払手数料	176	176
その他	117	133
営業外費用合計	2,031	1,970
経常利益	111,423	96,550
特別利益		
固定資産売却益	492	31
投資有価証券売却益	—	390
特別利益合計	492	422
特別損失		
固定資産除却損	2,968	855
特別損失合計	2,968	855
税金等調整前四半期純利益	108,947	96,117
法人税、住民税及び事業税	42,660	42,527
法人税等調整額	4,462	7,714
法人税等合計	47,123	50,242
四半期純利益	61,824	45,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,892	17,904
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,931	27,970

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成30年11月30日)
四半期純利益	61,824	45,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,413	△16,800
為替換算調整勘定	259	—
その他の包括利益合計	12,673	△16,800
四半期包括利益	74,497	29,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,605	11,170
非支配株主に係る四半期包括利益	15,892	17,904

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成30年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	108,947	96,117
減価償却費	119,011	96,298
固定資産売却損益 (△は益)	△492	△31
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△390
固定資産除却損	2,968	855
のれん償却額	125	125
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,549	△1,037
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,190	△1,213
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,586	2,558
受取利息及び受取配当金	△705	△772
支払利息	1,736	1,660
為替差損益 (△は益)	△31	△24
保険解約返戻金	—	△4,975
売上債権の増減額 (△は増加)	10,789	△9,931
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,306	△19,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,675	5,715
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,283	△7,775
その他	△10,983	11,207
小計	164,327	169,020
利息及び配当金の受取額	730	765
利息の支払額	△1,708	△1,660
法人税等の支払額	△83,517	△56,884
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,831	111,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△429,590	△29,690
定期預金の払戻による収入	429,490	29,590
長期預金の払戻による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△20,582	△1,977
有形固定資産の売却による収入	—	34
無形固定資産の取得による支出	△82,573	△76,924
投資有価証券の売却による収入	—	2,321
会員権の売却による収入	—	5,700
貸付金の回収による収入	1,264	76
敷金及び保証金の差入による支出	△2,048	△387
敷金及び保証金の回収による収入	143	956
保険積立金の解約による収入	—	8,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	196,103	△61,616

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成30年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
長期借入金の返済による支出	△10,998	△11,748
リース債務の返済による支出	△312	△520
株式の発行による収入	—	136
非支配株主からの払込みによる収入	2,230	3,400
配当金の支払額	△80,729	△79,865
非支配株主への配当金の支払額	△15,901	△16,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,710	△105,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	341	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	170,566	△55,653
現金及び現金同等物の期首残高	3,389,485	4,115,410
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	17,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,560,051	4,077,293

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,007,983	1,013,389	2,021,372	—	2,021,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,705	33,790	37,495	△37,495	—
計	1,011,688	1,047,179	2,058,868	△37,495	2,021,372
セグメント利益	299,645	15,573	315,219	△231,174	84,044

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△231,174千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	917,002	694,496	1,611,499	—	1,611,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,906	40,486	59,392	△59,392	—
計	935,909	734,982	1,670,891	△59,392	1,611,499
セグメント利益	271,141	75,256	346,397	△269,361	77,036

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△269,361千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。